

図書館だより

Library Information

開館時間 10:00～18:00 (※中央図書館は10:00～20:00)

- 市内図書館
- 中央図書館 (LIC はびきの内) 軽里 1-1-1 ☎950-5501
 - 陵南の森図書館 島泉 8-8-1 ☎952-2750
 - 羽曳が丘図書館 羽曳が丘西 2-5-1 ☎957-5553
 - 丹比図書館 檀山 251-1 ☎937-2355
 - 東部図書館 古市 1541-1 ☎950-2002
- 古市図書館 ☎958-0050 (水～日曜日 10:00～17:30)
●ブックステーションはびきのコロセアム ☎937-7210 (火・木・金曜日 13:30～16:30)

ちびっこサロン ～おはなし・手遊び・おりがみ など～

【日時】3月9日(水) 10:30～

【場所】森のゆうびん局 (市役所敷地内)

第22回朗読発表会 (朗読ボランティアグループ「はびきの」)

【日時】3月12日(土) 13:30～15:30

【場所】LICはびきの
3階 音楽実習室

【定員】80人

プログラム
「おそばのくきはなぜあかい」
「はなのすきなうし」他

春休み!おはなし会 (羽曳野市子ども文庫連絡会・おはなしの森)

【日時】3月26日(日) 【場所】中央図書館 多目的室

- 13:30～「三びきのこぶた」「したきりすずめ」他
- 14:15～「ジャックとまめのき」「おしんちゃんのごらくごらく」他

3月のおはなし会	羽曳が丘図書館	12日(土), 26日(土)	15:00	中央図書館	6日(日), 13日(日) 20日(日), 27日(日)	13:30
	陵南の森 図書館	6日(日), 13日(日) 27日(日)	14:00	古市図書館	19日(土)	15:00
		19日(土)	15:00	丹比図書館	26日(土)	10:30
		20日(日) 11:00 (小さい子向き) 11:30 (少し長いお話を聞ける子向き)		東部図書館	9日(水) 19日(土)	10:30 14:00

休館日のお知らせ

- 3月 1日(火) 市内全図書館
- 3月 2日(水) 中央図書館

※3月1日(火)、2日(水)はLICはびきの休館日
(館内設備の入替え作業のため)

読んでみませんか? ～新着図書～

『孫と私の小さな歴史』

佐藤 愛子/著 文藝春秋

孫の誕生から20年、毎年二人で
愉快なコスプレ写
真年賀状を作り続
けている大作家。
もらった人の笑顔
が浮かぶ、傑作の
数々を一挙公開し
ます。



孫と私の小さな歴史 佐藤愛子

『うめじいのたんじょうび』

かがくい ひろし/作 講談社

うめじいの誕生日をお祝いしよ
うと、浅漬けき
ゆうりやたくあ
んたちが集まっ
てきました。で
も、うめじいっ
ていったい何歳
なんだろうね?



わらべうた・手遊び講座 <講師: 岩出 景子 氏 (野の花文庫)>

【日時】3月19日(日)

(講座1) 13:00～13:30 / (講座2) 14:00～15:30

【場所】市役所 別館 3階会議室

講座1 「親子で楽しむわらべうたと手遊び」

<対象>乳幼児とその保護者 20組

<申込>中央図書館にて受付

※ 電話可、定員になりしだい締め切り

講座2 「子どもに伝えるわらべうたと手遊び」

<定員> >70人 ※ 当日先着順



サラグボール

ひと おも こころ たいせつ
「人を思いやる心を大切に」

昨年秋に開催されたラグビーワールド
カップで、日本代表チームが優勝
候補の南アフリカ代表に大逆転の勝
利を挙げる歴史的快挙を成し遂げまし
た。選手個々の力では敵わない相手に
対し、1+1を3にも5にもと結束を
固めた末の勝利だと言えます。今も勝
りの余韻が残り、キッカーの五郎丸選
手のポーズは一世を風靡しています。

英国生まれのラグビーは、体と体が
ぶつかり合い、ルールのあるケンカ
のような一面をもつスポーツですが、そ
のプレイの精神を表す言葉がありま
す。「One for All, All for One」です。
「一人は皆のために、皆は一人のため

に」と訳されています。
ラグビーは、団体スポーツとして
は最多の1チーム15人で構成されま
す。得点を挙げるのは、ゴールライ
ンにボールを運んだ選手一人ですが、
その一人のために、あとの14人が体
を張って、相手チームとのボール争
奪の中から「頼むぞ!」と、生きた
ボールを出しパスをする、それを「ボ
ールを出してくれて、ありがとう!」
と、14人に感謝しつつ得点を挙げる
のです。五郎丸選手が得点を挙げる
場面によく登場するので、彼一人が
活躍したかのように写りますが、ラ
グビーには一人のヒーローはいませ
ん。15人全員がヒーローなのです。

この「One for All…」という言葉
には、「私は何があっても、あなた達

を守り抜く。」「あなたは一人ではな
いよ、私達がついている。」と、仲間
一人ひとりを大切に思いやるような、
そして、勇気を奮い立たせてくれる、
温かさを感じずにはいられません。
人権も、人への思いやりの心によ
って守り、育まれるものではないで
しょうか。高齢者への虐待や、いじ
めを苦にした子どもの自殺など、人
間の尊厳に関わる事件が報じられる
昨今、ラグビーとその精神を愛し幾
年も経て日本チームの活躍に触れ、
「私は、いかなる時も、人を思いやる
優しく強い心を持ち合わせていたい。
人とは、そうあってほしい。」と、思
いを新たにしたところです。

はびきの しじんけんけいほつしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会